

市町村名		名護市					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧ やがじ地域観光拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-カ		
	担当部署名	地域経済部 屋我地支所	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所		
事業内容		修学旅行等の誘致を図るため、観光地周辺整備及び観光体験施設整備に向け設計業務並びに工事を実施する。					
効果発現年度		■当年度 ■後年度(R4年度)					
実施方法		■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	
		(a)当初予算額	5,000	130,228	-	93,402	-
	(b)予算現額	5,000	99,676	-	93,402	-	
	(c)増減額(b-a)	0	▲30,552	-	0	-	
	(d)繰越額	0	0	52,854	0	69,025	
	A.計(b+d)	5,000	99,676	52,854	93,402	69,025	
	B.執行済額	4,860	46,822	51,751	24,377	63,554	
	うち交付金充当額	3,888	37,457	41,402	19,501	50,844	
	次年度繰越額	0	52,854	0	69,025	0	
	執行率(%) (B/A)	97.2%	47.0%	97.9%	26.1%	92.1%	
予算の状況の説明		工事並びに委託業務において関係者との調整に不測の日数を要し年度内完了が困難となったことから、69,025千円を令和元年度に繰越した。 不用額5,471千円については、農業体験施設整備費の入札残及び各種委託費の執行残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	オランダ墓アクセス通路 物件補償設計	目標	(物件補償設計)	()	()	()	
		実績	実施				
	塩づくり体験施設 実施設計	目標	(実施設計)	()	()	()	
		実績	実施				
農業体験施設 建築工事	目標	(建築工事)	()	()	()		
	実績	実施					
達成状況説明	オランダ墓整備事業における物件補償設計業務、塩づくり体験施設の土木造成設計、農業体験施設の建築工事を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	オランダ墓アクセス通路 物件補償設計の完了	目標	()	(物件補償設計)	()	()	()
		実績		完了			
	塩づくり体験施設 実施設計の完了	目標	()	(実施設計)	()	()	()
		実績		完了			
	農業体験施設 建築工事の完了	目標	()	(建築工事)	()	()	()
実績			完了				
進捗状況説明	オランダ墓整備事業における物件補償設計業務、塩づくり体験施設の土木造成設計を完了し、平成30年度に完成した。 農業体験施設建築工事を完了し、平成30年度に完成した。						
【R4成果目標】		修学旅行受入数	()	()	()	()	(160校)

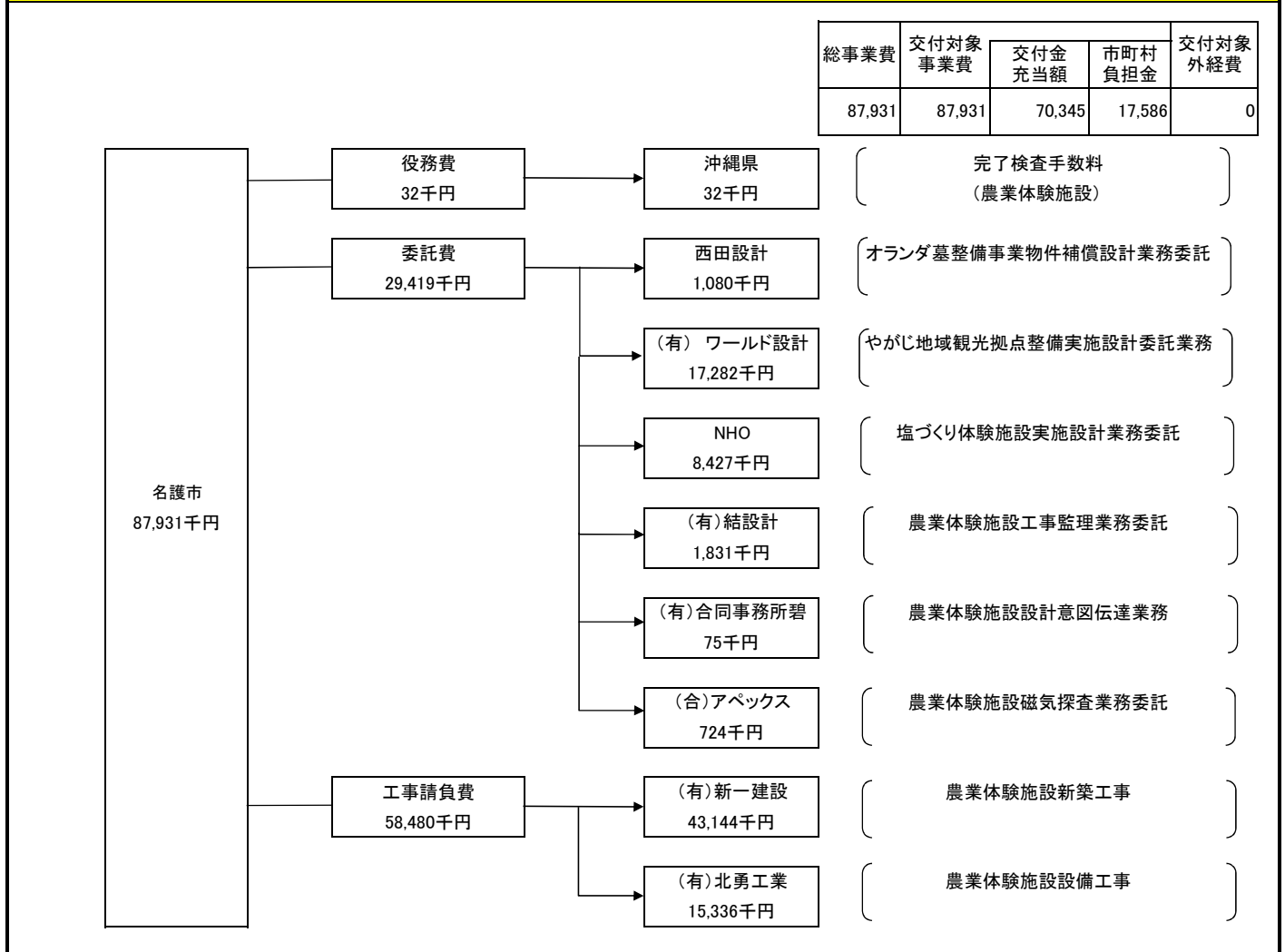
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・オランダ墓アクセス道路については物件補償設計を完了し、塩づくり体験施設は実施設計を完了した。 ・完成した農業体験施設については、今後修学旅行生の体験施設として運営し、利活用を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オランダ墓アクセス道路及び塩づくり体験施設については、令和3年度の完成に向けて適切に事業を進めていく。 ・農業体験施設については、年間を通じた体験メニューを考案し、安定的な収益確保に取り組む。

今後の取り組み方針

・オランダ墓通路整備については、物件補償、アクセス通路整備工事を実施する。塩づくり体験施設については、用地購入、開発許可申請・土木工事、建物建築工事を実施する。

・農業体験施設等については、指定管理者の農業生産法人に対して施設管理(一般管理、保守保安、衛生)についての協定書を順守するとともに収益増に向けた取り組みを求め、修学旅行等の誘致件数の増加につなげていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流	評価	点検項目	評価に関する説明
点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札や公募入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業目的を達成するために必要な役務費、委託費、工事請負費であり、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業完了後に検査、検収を行い、適正に実施されていることを確認している。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	